

鼎談

地域の看護師不足を考える



ゲスト

春山早苗先生

自治医科大学看護学部 教授

聞き手

廣瀬英生先生

県北西部地域医療センター国保白鳥病院 院長

聞き手

大海佳子さん

地域医療振興協会 地域看護介護部長・
前 自治医科大学附属病院看護部長

看護師不足の現状

廣瀬英生 今日は自治医科大学看護学部教授の春山早苗先生をゲストにお招きし、編集委員の大海佳子さんと一緒に「地域の看護師不足を考える」をテーマにお話したいと思います。

自己紹介を兼ねて、私は昨年からは県北西部地域医療センター国保白鳥病院の病院長を務めています。白鳥病院はいわゆる地域の病院で、先月も7病院長会議をしたのですが、経営が非常に厳しいことも含め、7病院中7病院が看護師不足の問題を抱えていました。それを編集会議で話題にしたところ、ぜひテーマとして取り

上げたいということになりました。今日は、看護師不足の現状とその原因、そして今後の取り組み、将来の展望などについてお話ししたいと思います。

まず、今、現場では看護師不足をどのように感じているか、率直に聞かせていただけますか。

春山早苗 私は今、保健師の育成に関わる教育を中心にしているので、病院の看護師不足のことは十分に把握できていませんが、へき地で働く看護師不足については、日本ルーラルナース学会の理事をしていることもあり、関心を向けてきました。私が自治医大に赴任したのは20数年前ですが、看護師不足の状況はその頃から変わっていないと感じていて、「今、どうして改めて看護師不足が強調されるのか？」と少し不

思議に思います。その頃から、医師の偏在は言われていましたが、実は看護師も偏在していて、特に地方になればなるほど、中小規模の病院の看護師確保というのは非常に難しい状況でした。そして、それは今も続いています。看護師の就職は日本の経済状況と関連していると言われており、経済が少し上向きになっているので、現在、看護師不足がより一層、深刻となり、声高に言われるようになっているのかなと思います。また、横ばいだった18歳人口が、いよいよ数年前から減少に転じてきていて、18歳人口を当てにすることは、特に地方の中小規模の病院では厳しくなっているのだらうと思います。

大海佳子 2024年の病院看護実態調査をみると、200床以下の小規模病院の離職率が激しく、大きい病院に比べるとやはり採用の困難さがあると思います。東京や大阪などの大都市の離職率も比較的高いですが、すぐに就職する先がある上での離職率の高さなのですね。地域は離職されてしまうと、その後なかなか採用に結びつかないというのが課題としてあると思います。

春山 大海さんが言われたように、大病院では以前から離職しても同じぐらい確保もできる状況でした。近年はさらに大病院では定着率は上がっているのではないかという気がするのですが、それはやはり看護師の働き方改革が影響しているのではないかと思います。

大海 そうですね。働き方改革で働きやすさが求められてきているというのと、教育体制が整っている、また、よく言われる心理的安全性の高い職場づくりといったことを、病院全体で整えているという点で、大きな病院は働きやすい環境が整う要素があるのではないかという気がします。

私は今、地域医療振興協会でいろいろな病院に関わっていますが、小規模の病院では教育に課題があって、大きな病院に比べると教育のためのリソースや対象者の少なさから、教育体制が十分に整えられていない施設もあるように感じます。

看護師不足と 地域病院の病棟閉鎖の関係

廣瀬 20年前とそれほど変わりはないということですが、地域では看護師がいないがために病棟閉鎖になるという状況が、最近ではかなり起こっています。そのあたりの変化というのはどう思いますか。

大海 そうですね。地域の病院というのは、地元の人たちが看護師として働いていることが多いので、1回離職してしまうと採用が難しい。また離職が続くと、評判がよくなり、次の採用に影響するというを感じています。それだけ人がいない、若い人がいないところでの離職というのは痛手なのだと思います。

春山 20数年前から地方の病院の看護師確保というのは課題だったと思うのですが、先ほど言ったような状況で、それがより深刻化しています。ある都道府県の看護師確保対策に取り組んでいる保健師に話を聞く機会があったのですが、やはり病棟閉鎖、病院閉鎖が問題になっていて、住民の関心も高まっており、より看護師確保に力を入れているということでした。

大海 高齢化が進み、人口減少による患者の減少もあり、稼動が悪くなっているところも実際にあります。ただ、今ある病棟を閉鎖するというのはとても大きな決断なので、維持しているところもたくさんあります。でも、これまでそれはなりに維持できたのが、ここにきて患者の減少と経営状況の悪化によって、維持できなくなり病棟閉鎖が起こっているという印象を受けます。

廣瀬 看護師不足で閉鎖しているパターンと、経営的収縮で閉鎖しているパターンのどちらもあって、卵とニワトリの関係かと思うのですが、看護師さんがいないから病棟を閉鎖して経営が悪化しているというケースが、私の周囲も含め、地域では結構多いと感じます。実際の離職率